

Agenda

What is the ARLISS?

～ARLISSとは!?!～

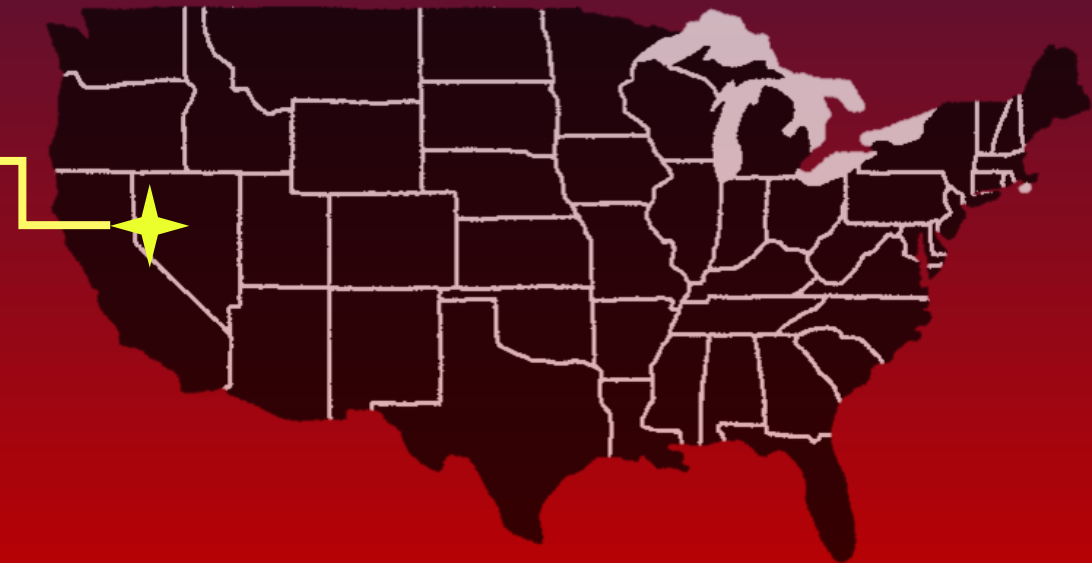
What is the ARLISS?

ARLISS

A Rocket Launch for International Students Satellites

ARLISS（アーリス）では、米国ネバダ州ブラックロック砂漠にて、学生が開発した小型模擬人工衛星“CanSat”の打上げ機会を提供し、衛星開発プロジェクトの経験をサポートしており、今年度で25回目を迎える。

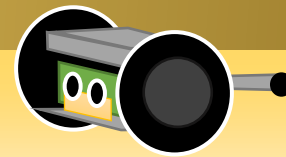
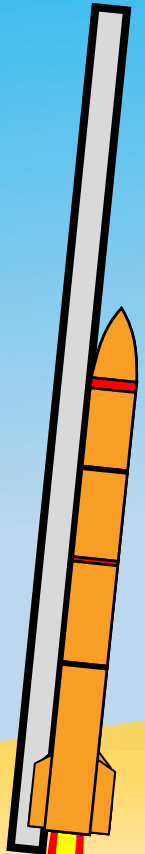
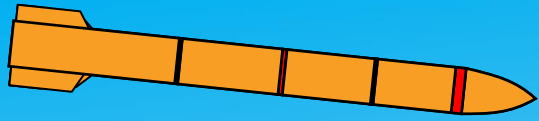
Black Rock Desert



Come Back Competition

～カムバックコンペティション～

Come Back Competition



Features of ARLISS

～ARLISSの特徴～

ロケットによる打上げ



○高高度を活かしたミッションが可能

- ・高高度領域でのデータ取得
- ・減速降下中の空撮

○ロケットで打上げるために必要な試験

- ・振動試験
- ・準静的荷重試験
- ・分離衝撃試験

Features of ARLISS

広大なフィールド

着陸地点から、ゴールまで約3kmを走行



海外団体との交流



技術交流会

機体を見せ合いながら、技術交流

成果報告会

プレゼン形式で、ミッションの結果
などについて報告

システムズエンジニアリングの実践

1. 目標を決める（ミッション定義）
2. どうやったら目標を達成できるか考える（要求仕様の検討）
3. 目標を達成できるような大まかな設計・性能を考える（概念設計）
4. 細かな設計・性能を考える（詳細設計）
5. 物を製作する

ミッション定義 ➡ 概念設計 ➡ 詳細設計 ➡ EM製作 ➡ FM製作

Features of ARLISS

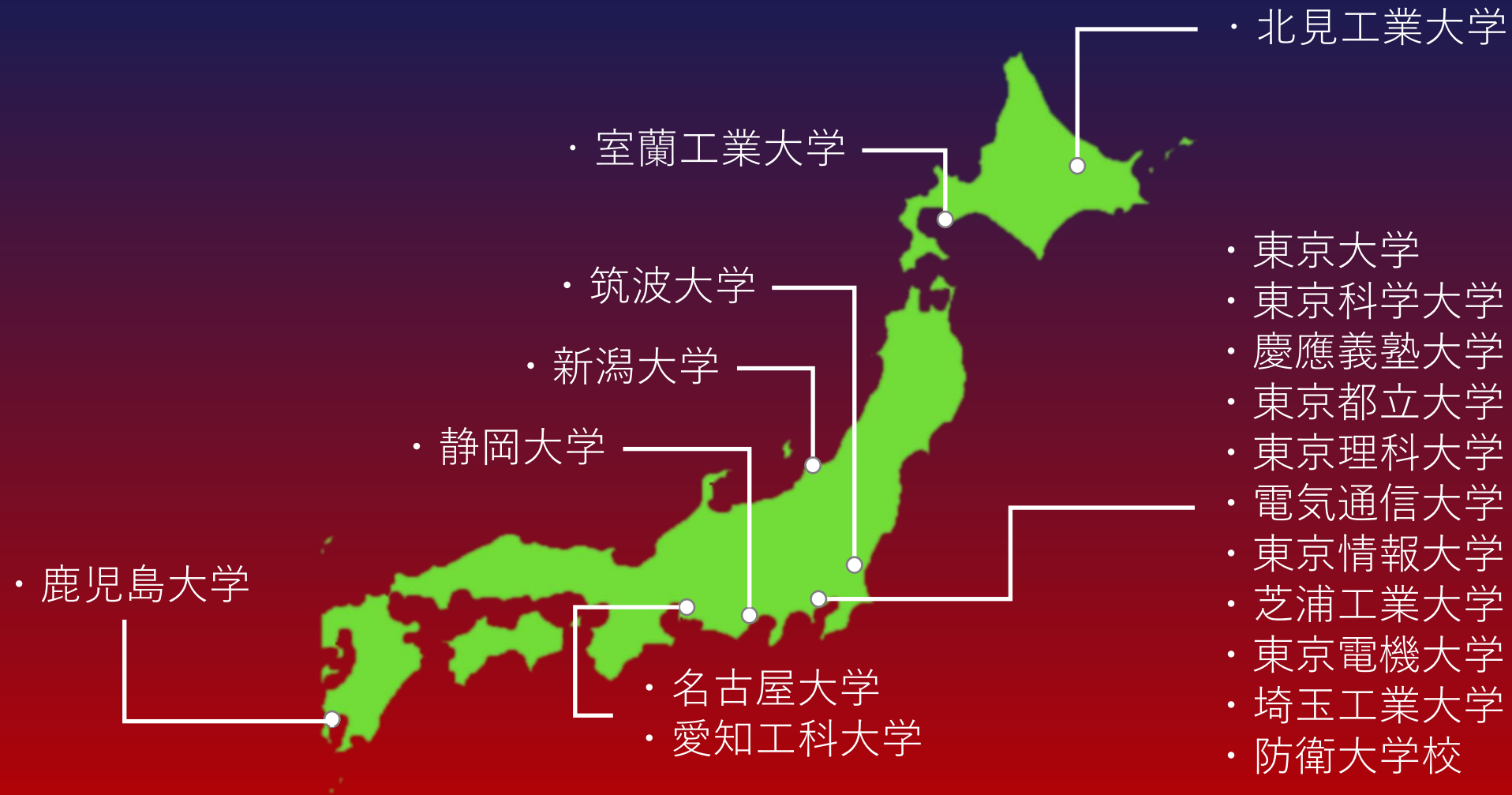
参加資格のための審査

Participation Team Record

～参加チーム実績～

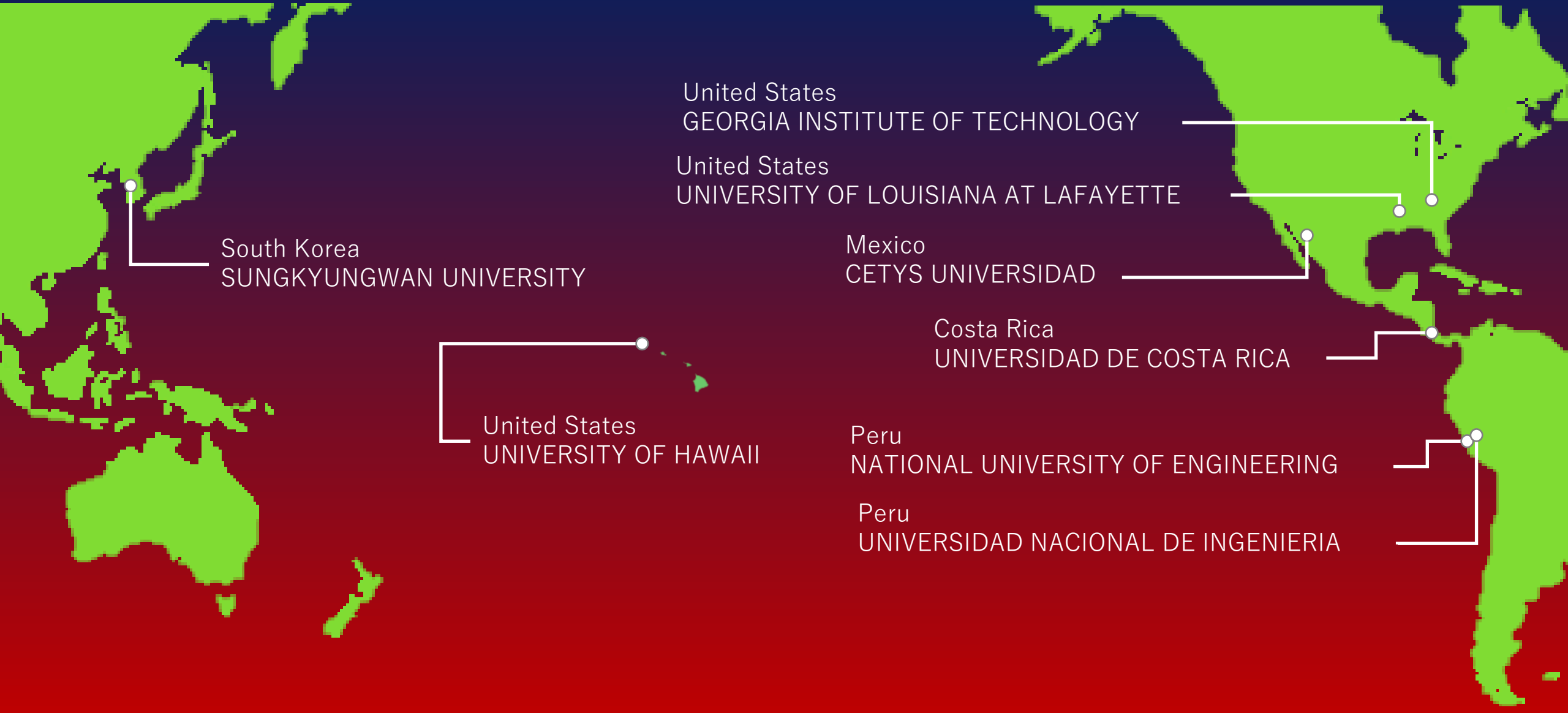
Participation Team Record

直近5大会の国内参加大学



Participation Team Record

直近5大会の海外参加大学



South Korea
SUNGKYUNGWAN UNIVERSITY

United States
GEORGIA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

United States
UNIVERSITY OF LOUISIANA AT LAFAYETTE

Mexico
CETYS UNIVERSIDAD

Costa Rica
UNIVERSIDAD DE COSTA RICA

United States
UNIVERSITY OF HAWAII

Peru
NATIONAL UNIVERSITY OF ENGINEERING

Peru
UNIVERSIDAD NACIONAL DE INGENIERIA

This year's ARLISS
～今年度のARLISS～

This year's ARLISS

今年度のスケジュール

	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT
キックオフ説明会	MAY 2 th					
ミッションレビュー会		JUN 7 th				
予備審査			JUL 4 th - 20 th			
本審査				AUG 1 th - 15 th		
設営日					SEP 7 th	
大会期間					SEP 8 th - 11 th	
技術交流会					SEP 12 th	
報告会						TBD

Entry Teams

～今年度の参加チーム～

Entry Teams



Avispa
東京大学



Team Wolve
慶應義塾大学

Entry Teams



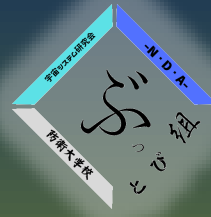
Team Dauntless
Uncharted
南京邮电大学



SuperNOVA
一般桦

Entry Teams

Student Entry : 13 team



Non-Student Entry : 1 team



New Goal
～新ゴール～

新ゴールの運用開始！

目的

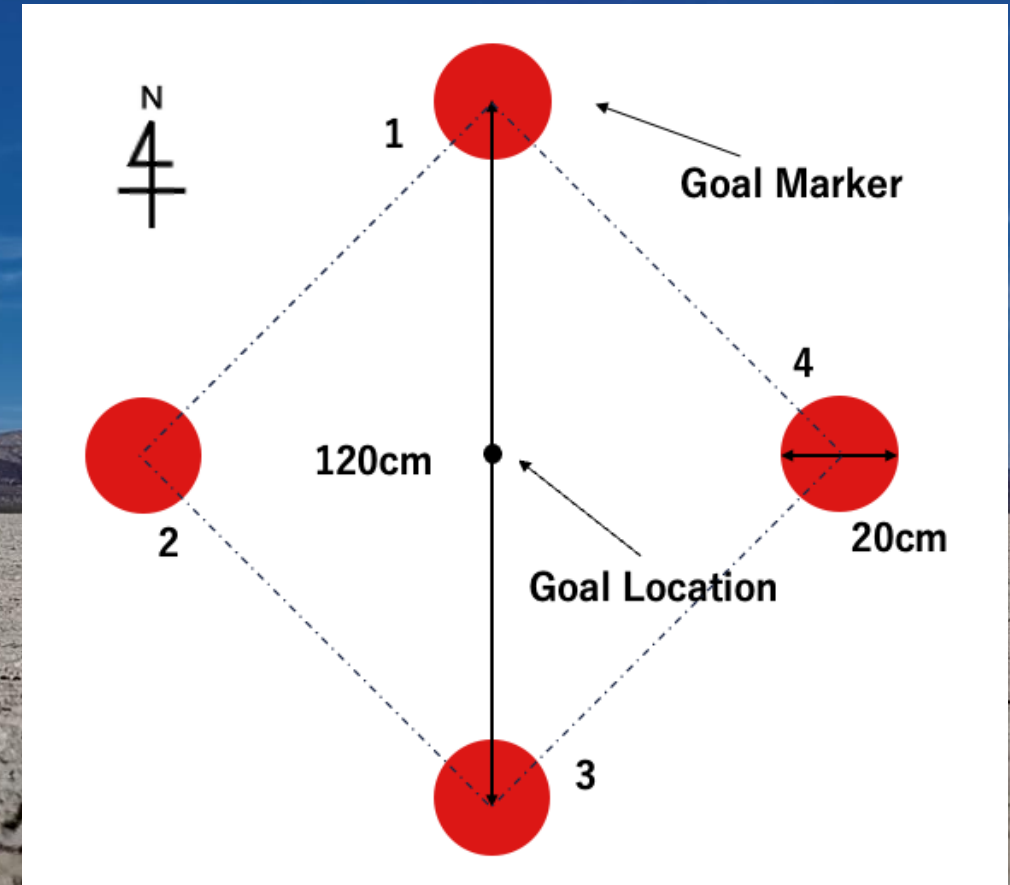
- Comeback Competitionをより面白いものにする。
- CanSatの技術の進化を促す。

特徴

- ゴール座標に赤コーンなどのマーカーが存在しない。
- 代わりに、ゴール座標から東西南北各60 c mの地点にゴールマーカーを配置。

ゴール距離の定義

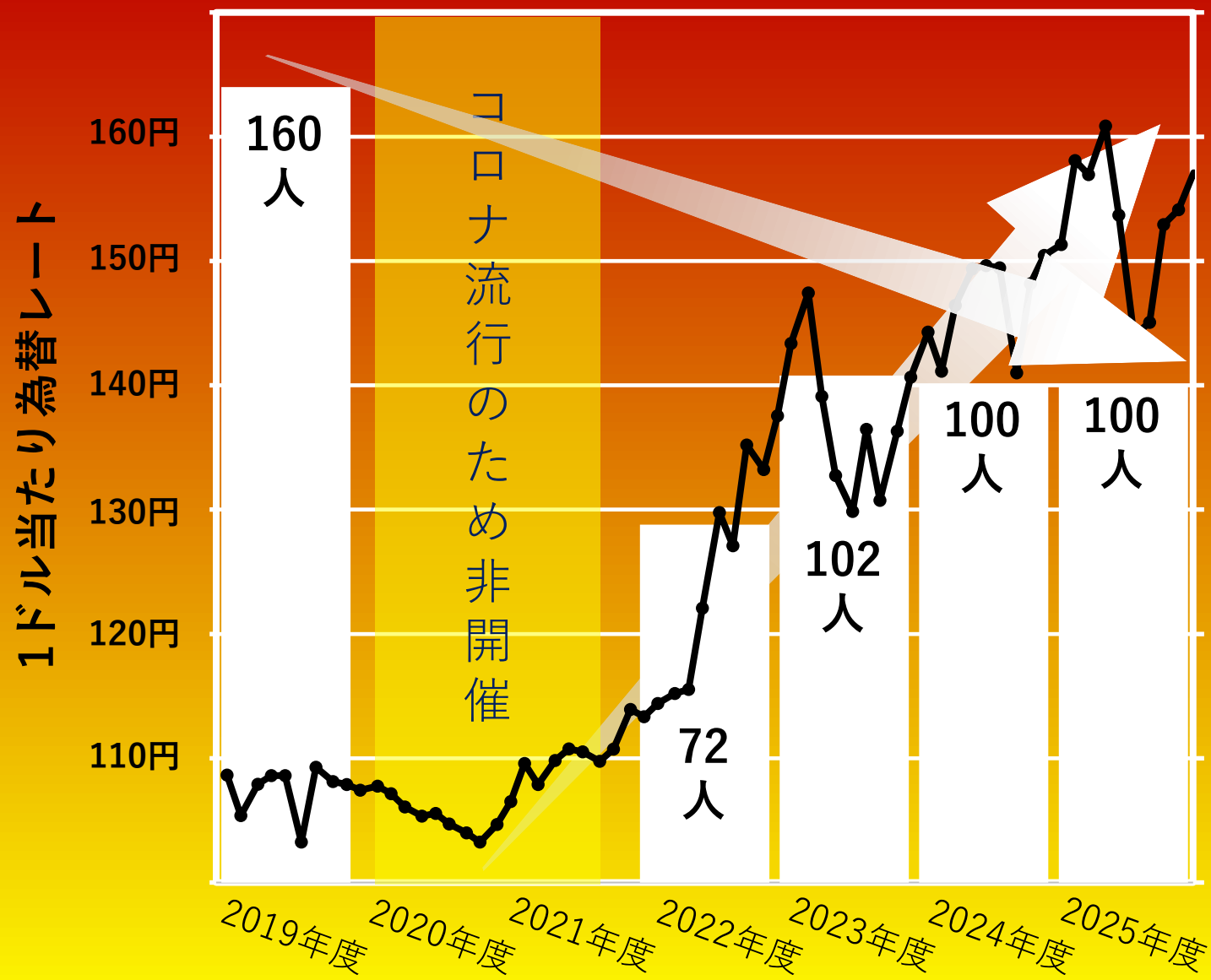
ゴール座標から、ゴール座標に最も近い機体の一部までの距離。



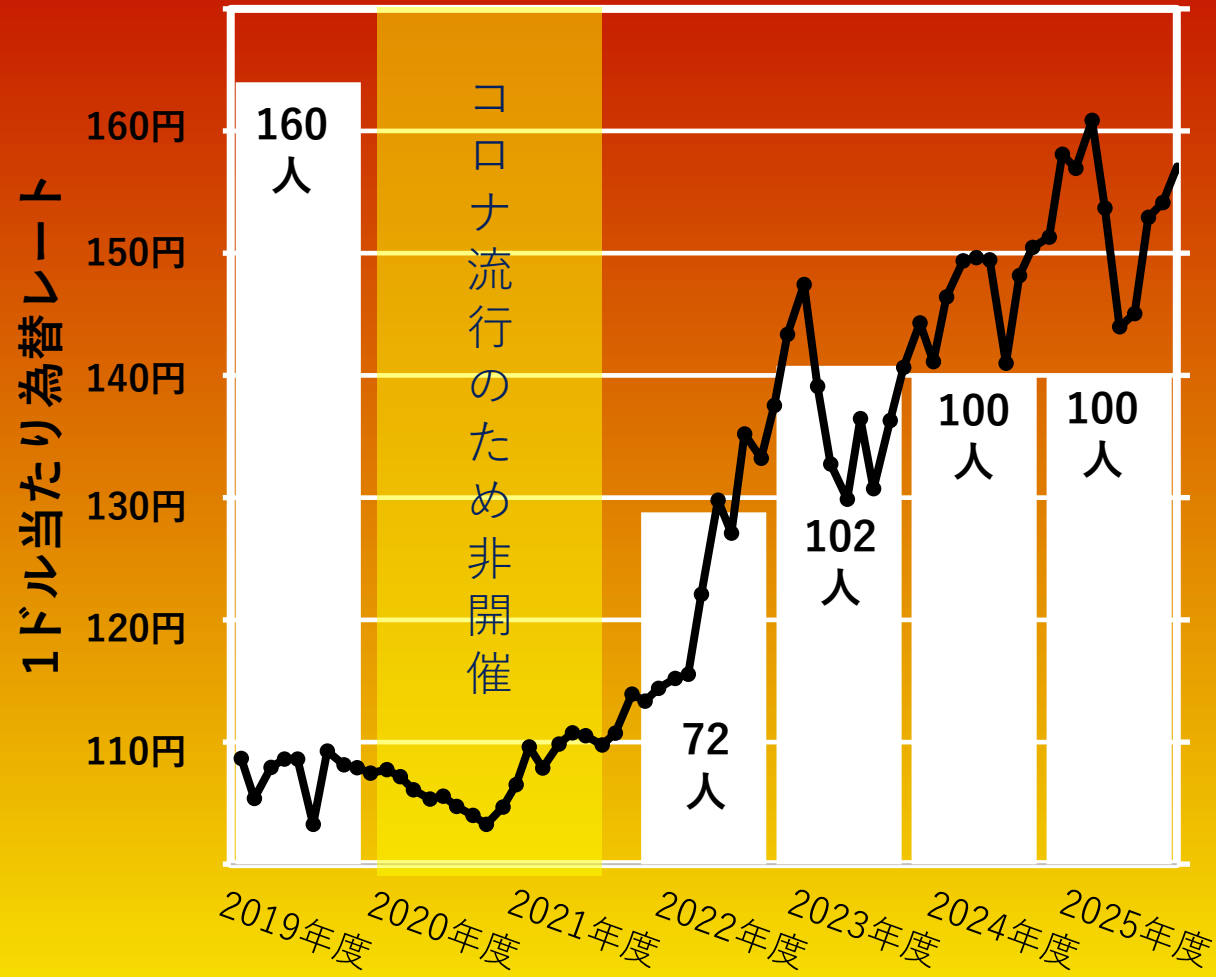
External Funding Strategy

～外部資金調達～

External Funding Strategy



External Funding Strategy



渡航費・宿泊費・諸費用の高騰



参加者減少



参加費高騰



External Funding Strategy

AERO-PACへ支払う費用

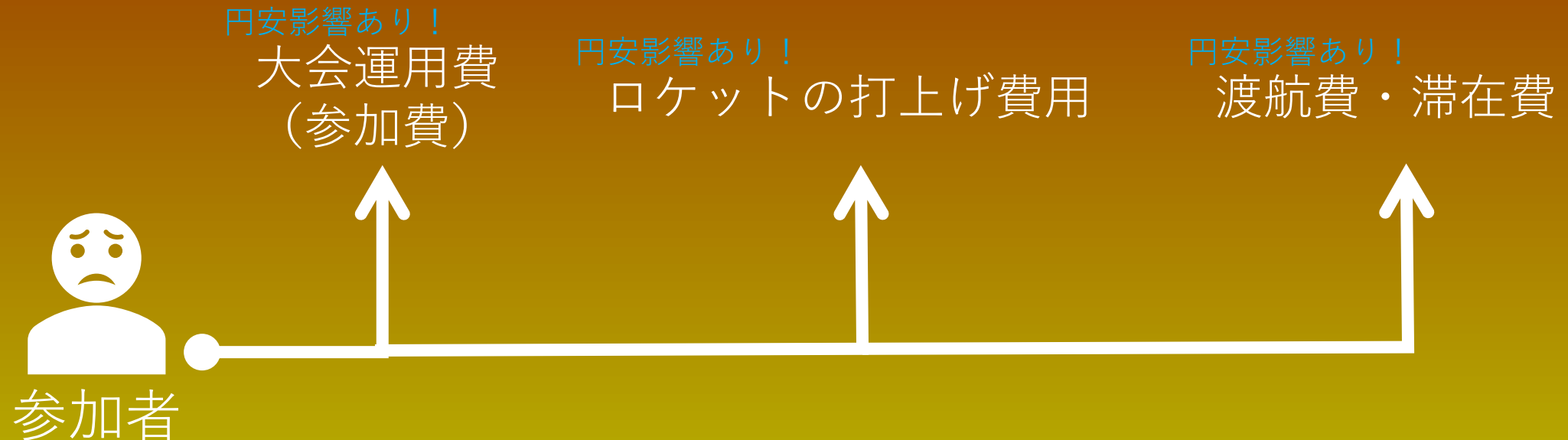
1. 打上げ費用

- ・ Open Class : 600ドル／1回
- ・ (CanSat Class : 200ドル／1回)

2. 砂漠使用料 : 15ドル／1人・1日 (ex:4日間で60ドル／1人)

運営が徴収する運用費

参加費 : UNISEC会員は3.3万円／1人
非会員は3.7万円／1人



New experiment for this year

渡航費を工面するために
バイトをたくさんしなきゃ、、、

現地へは行けないメンバーが多くて
辞退するしかない、、、

怖いけど、安いホテル
泊まるしかない、、、

バイトのせいで開発が
進まない、、、

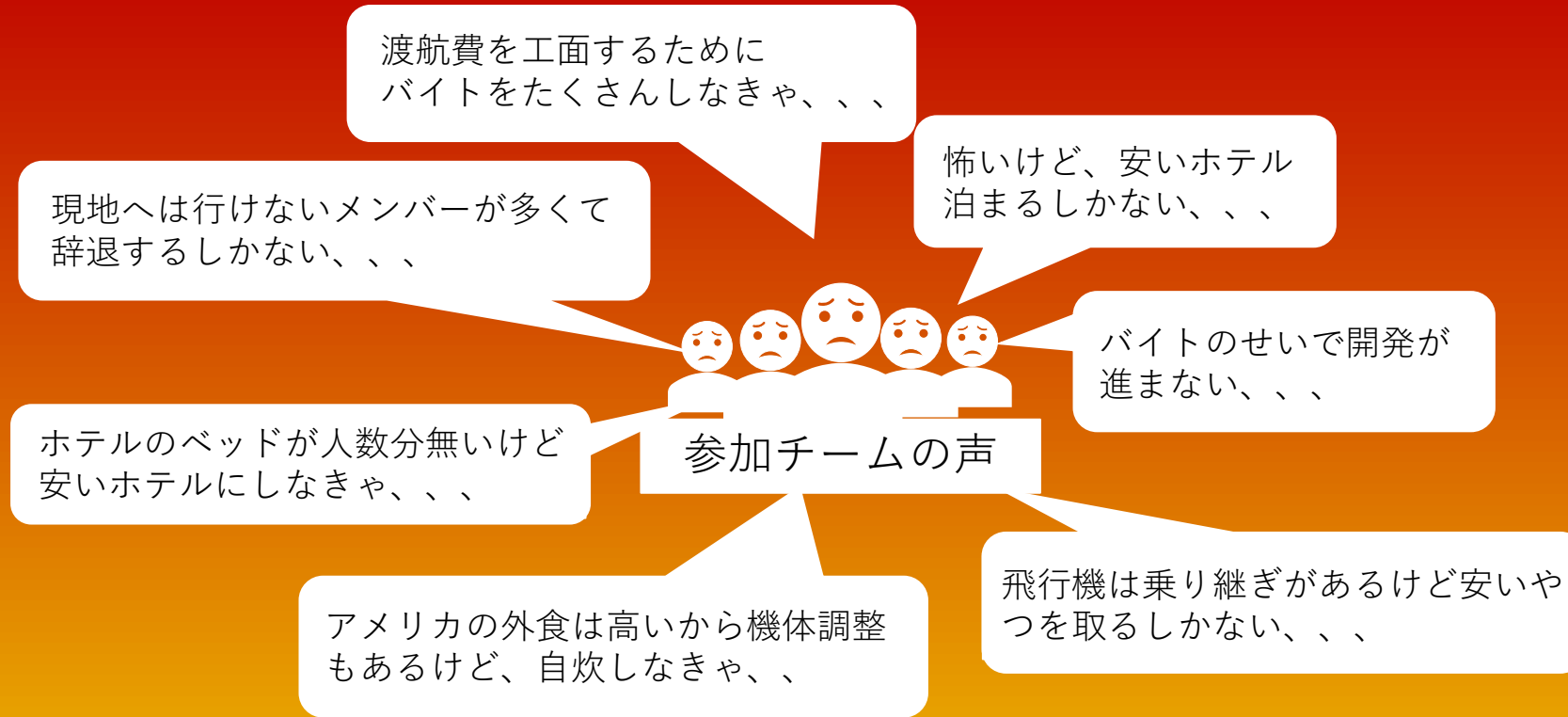
ホテルのベッドが人数分無いけど
安いホテルにしなきゃ、、、

参加チームの声

アメリカの外食は高いから機体調整
もあるけど、自炊しなきゃ、、

飛行機は乗り継ぎがあるけど安いや
つを取るしかない、、、

External Funding Strategy



このままでは大会存続も危うい・・・



大会運営予算を外部から持って来れないか！？

Crowdfunding

～クラウドファンディング～

Crowdfunding

目標金額
250万円



寄付募集期間

5 / 23

金

8 / 21

木



Crowdfunding

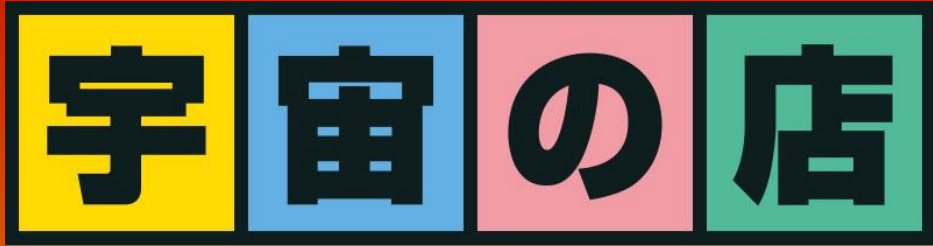


Sponsoring Company

～協賛企業～

Sponsoring Company

資金をご支援いただいている企業



株式会社ビー・シー・シー



デロイトトーマツサイバー合同会社

技術提供をいただいている企業



IMV株式会社

25th Anniversary

～25回目記念～

25th Anniversary

25回目記念パンフレットの作成を予定



AERO-PACに感謝を！！

ARLISS 20th
ANNIVERSARY

Messages to ARLISS



September 2018

ARLISSの学術発表

「CanSat国際競技会ARLISSにおけるプロジェクトマネジメントとシステムズエンジニアリングの実践の教育的効果」

発表場所：宇宙科学技術連合講演会（宇宙教育）

発表者：吉田湧人

共著者：岡田光世, 中西洋喜, 服部聖彦, 稲守孝哉, 中須賀真一

25th Anniversary

エレキ万博でのポスター発表



ご清聴ありがとうございました



Home Page



X (Twitter)



Instagram



Facebook